

科目名	クリエイションテクニックⅡ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターマスターズコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	300	作成者	友廣麻紀

【科目の到達目標】

レディス、メンズ、キッズなど基本アイテムの構造の理解とクリエイションを目的とした作品製作

【科目の概要】

ファッション業界において商品企画をするために必要な洋服の構造を理解することは不可欠である。
企画を立てるにあたって必要な縫製技術と知識の理解を深める

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期	
1・2	スカート	76・77	ジャケット(ヴィヴィアンテイストのジャケット)
3・4・5	プレタ 作品	78・79・80	上田学園コレクション作品
6・7	スカート	81・82	ジャケット(ヴィヴィアンテイストのジャケット)
8・9・10	プレタ 作品	83・84・85	上田学園コレクション作品
11・12	スカート	86・87	モッズコート(トワール製作と実物1作品)
13・14・15	プレタ 作品	88・89・90	上田学園コレクション作品
16・17	スカート	91・92	モッズコート(トワール製作と実物1作品)
18・19・20	プレタ 作品	93・94・95	上田学園コレクション作品
21・22	ジャンパー(トワール作成含む)	96・97	モッズコート(トワール製作と実物1作品)
23・24・25	プレタ 作品	98・99・100	上田学園コレクション作品
26・27	ジャンパー(トワール作成含む)	101・102	モッズコート(トワール製作と実物1作品)
28・29・30	プレタ 作品	103・104・105	上田学園コレクション作品
31・32	ジャンパー(トワール作成含む)	106・107	モッズコート(トワール製作と実物1作品)
33・34・35	プレタ 作品	108・109・110	上田学園コレクション作品
36・37	ジャンパー(トワール作成含む)	111・112	モッズコート(トワール製作と実物1作品)
38・39・40	商品製作1(ジャンパー)	113・114・115	上田学園コレクション作品
41・42	ジャンパー(トワール作成含む)	116・117	モッズコート(トワール製作と実物1作品)
43・44・45	商品製作1(ジャンパー)	118・119・120	上田学園コレクション作品
46・47	カットソー	121・122	モッズコート(トワール製作と実物1作品)
48・49・50	商品製作1(ジャンパー)	123・124・125	上田学園コレクション作品
51・52	カットソー	126・127	モッズコート(トワール製作と実物1作品)
53・54・55	商品製作1(ジャンパー)	128・129・130	商品製作2(モッズコート)
56・57	カットソー	131・132	モッズコート(トワール製作と実物1作品)
58・59・60	商品製作1(ジャンパー)	133・134・135	商品製作2(モッズコート)
61・62	カットソー	136・137	モッズコート(トワール製作と実物1作品)
63・64・65	商品製作1(ジャンパー)プレゼン	138・139・140	商品製作2(モッズコート)
66・67	カットソー	141・142	モッズコート(トワール製作と実物1作品)
68・69・70	テスト	143・144・145	商品製作2(モッズコート)
71・72	まとめ	146・147	まとめ
73・74・75	まとめ	148・149・150	まとめ

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具

科目名	クリエイションデザイン論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターマスタースコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 35 % 実習 65%
時間数	120	作成者	林 和子
【科目の到達目標】 マーケットのトレンドと独創性でオリジナルの商品企画が出来る。			
【科目の概要】 マーケットを分析し、新たな視点から企画提案が出来る。			
【授業計画】 90分/コマ			
前期		後期	
1	クリエイションデザイン3年概要	31	アパレル企業デザイナーの仕事について
2	就職活動について	32	企業デザイン①
3・4	サステナビリティ	33・34	企業デザイン②
5・6	色・形・デザインの定義	35・36	企業デザイン③
7・8	企業研究①	37・38	企業デザインプレゼン
9・10	企業研究②	39・40	ECサイトについて
11・12	商品企画①	41・42	ECサイト分析①
13・14	商品企画②	43・44	ECサイト分析②
15・16	トレンド分析1(メンズ)	45・46	ECサイト分析③
17・18	トレンド分析2(メンズ)	47・48	アパレル販売促進①
19・20	トレンド分析1(ウィメンズ)	49・50	アパレル販売促進②
21・22	トレンド分析2(ウィメンズ)	51・52	アパレル販売促進③
23・24	HEP企画表説明	53・54	ブランド企画①
25・26	企画・構成	55・56	ブランド企画②
27・28	マインドマップ・スケジュール制作・確認	57・58	ブランド企画③
29・30	前期末テスト	59・60	テスト ブランド発表
【成績評価方法】 課題 60%(小テスト含む) 試験 30% 出席 10%			
【教科書・参考書】 ファッション週刊誌WWDジャパン『Fashion Desgin Resource』PNN新社 Robert Leach コンセプトのつくりかた ダイアモンド社 玉樹真一郎			
【教材・教具】 配布プリント 筆記用具 ハンガーイラストが描ける用具 実習の用意			

科目名	クリエイションパターンⅡ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターマスタースコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20% 実習 80 %
時間数	120	作成者	友廣 麻紀
【科目の到達目標】 基本パターンの製図からトワールチェックし工業用パターンを作成。 各種デザインパターンへ理論的に展開トワールチェック後、パターン作成まで。 規格サイズの理解。既製服のサイズ展開の基本知識を養う。 自由に企画・デザインするための形状の知識を培う。			
【科目の概要】 基本パターンの製図からトワールチェックし工業用パターンを作成。各種デザインパターンへ理論的に展開トワールをチェック後、パターン作成まで。基本アイテムのサイズ展開の方法を習得する。 自由に企画・デザインするためのパターン展開のバリエーションを発送、検証する。			
【授業計画】			
90分/コマ		前期	後期
1.2	概論 見頃原型、袖の考察	31.32	デザインジャケット
3.4	ダーツ無しの見頃、袖のパターンメイキング	33.34	デザインジャケット(縫製仕様書)
5.6	ドロップスリーブ	35.36	デザインジャケット
7.8	グレーディング	37.38	ラグランスリーブ、きものスリーブ、舟形
9.1	グレーディング	39.40	デザインワンピース
11.12	タイトスカート原型ダーツを利用した展開	41.42	(ラグランスリーブ、きものスリーブ、舟形)
13.14	デザインスカート	43.44	メンズジャケット トワール組
15.16	襟のパターンチェック	45.46	メンズジャケット トワール組
17.18	デザインブラウス	47.48	ラブオフ
19.2	ファーストパターンチェック	49.50	ドレーピング(ツイスト)
21.22	ジャケット	51.52	ドレーピング(ツイスト)
23.24	ジャケジャケット(1枚袖)	53.54	平面から立体に
25.26	ジャケット(2枚袖)	55.56	平面から立体に
27.28	試験&まとめ	57.58	試験
29.30	ジャケット(表襟、見返しの展開)	59.60	まとめ
【成績評価方法】 提出物評価60% テスト30% 授業態度10%			
【教科書・参考書】 プリントを配布			
【教材・教具】 筆記用具 実寸製図用具・トワール・シルクピン・メジャー・筆記用具・裁断はさみ等			

科目名	クリエイションドローイングⅡ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ファッションクリエイター マスターズコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	30	作成者	田中英子

【科目の到達目標】

半年間終了時に、アパレルやコスチューム業界への就職対応のドローイング表現ができる。

【科目の概要】

アパレルやコスチューム業界で絶対必要なデザイン画を描く授業です。授業内容は、教科書や配布するプリントを使用し、そして黒板を使って重要ポイントを説明します。その後、各学生がデザイン画表現を行います。制作するデザイン画は、鉛筆描きや画材を使用しての着色など様々な表現を学びます。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 9頭身応用編 オリジナルのポーズ作成(レディース・メンズ)
- 2 顔(前、横、斜め、メンズ、レディース)髪、手、足
- 3 着色演習1:色鉛筆(A4サイズ)
- 4 着色演習2:マーカー(A4サイズ)
- 5 着色演習3:パステル(B4サイズ)
- 6 フォーマルドレスの表現レディース(A4サイズ)
- 7 フォーマルスーツの表現メンズ(A4サイズ)
- 8 早描き(トータルコーディネート)
- 9 素材表現1:ファーアイテム
- 10 素材表現2:ニットアイテム
- 11 素材表現3:柄物アイテム(プリント・レース)
- 12 素材表現4:光沢アイテム(レザー・サテン)
- 13 デザイン画選手権(デザイン出し)
- 14 デザイン画選手権(ラフ)
- 15 試験

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリント等を配布

【教材・教具】

筆記用具、描画用具、ケント紙

科目名	縫製工学	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターマスターズコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 100 %
時間数	30	作成者	相馬成男
【科目の到達目標】専門学校では注文服(オートクチュール)作りを主体に履修するが、社会へ出ると既製服(プレタポルテ)が主流であり、工業生産的もの作りの道理、実務工程の知識を習得し、自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れる技術者を目指す。			
【科目の概要】国内繊維産業は長年の厳しい国際競争の中で、①高機能・高性能繊維、②高品質・高感性の素材、③精緻な縫製技術の3点が強みとしてあげられているが、衣料品の輸出は先進国の中で極めて少ない。一方で持続可能な開発目標(SDGs)達成が掲げられており、これら現状認識をしながら、アパレル企業が行う技術的業務の基礎知識をテキスト、パワーポイント及び動画と適宜配布資料を用いて講義を進める。			
【授業計画】 90分/コマ	後期		
第1週	第1章 アパレル産業の歴史と変遷		
第2週	第11章 世界と日本の繊維生産 第2章 アパレル製品の商品企画		
第3週	第3章 アパレル製品の副資材 - 1		
第4週	第3章 アパレル製品の副資材 -2		
第5週	各論 第3章 スポーツウエア		
第6週	第4章 アパレル製品用材料の 試験と検査		
第7週	第5章 アパレル製品の縫製 と二次加工		
第8週	各論 第4章 下着(インナーウエア) 各論 第5章 靴下		
第9週	第6章 アパレル製品の検査 と品質管理		
第10週	第7章 アパレル製品の安全・安心		
第11週	各論 第1章 紳士服 -1		
第12週	第8章 アパレルの表示と関連法規		
第13週	第9章 アパレル製品の洗濯 とメンテナンス		
第14週	第10章 アパレル製品の品質管理 と消費者対応		
第15週	各論 第1章 紳士服 -2 各論 第2章 婦人服 総復習 経済産業省,環境省,消費者庁情報		
【成績評価方法】 毎回講義後の課題(宿題)の評価:50%、期末試験:40%、授業態度:10%			
【教科書・参考書】 編集:一社団法人 日本繊維技術士センター、『業界マイスターに学ぶ「アパレルの基礎知識」』、 発行所:金壽堂出版有限会社、発行日:2020年7月3日			
【教材・教具】 筆記用具			

科目名	ファブリック演習	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ファッションクリエイターマスターズコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 100%
時間数	30	作成者	河本 育子
【授業の到達目標】 市場動向を読み取り、デザインにあった素材選びのできるスペシャリストを目指す。 アパレル素材の役割を理解、繊維特性、布地の構造による機能の違いなど専門知識を修得する。			
【授業概要】 ユニクロのヒートテックに代表されるように、アパレルにおける素材の機能性はますます重要になってきている。 講義を通じてさまざまな繊維の機能性、加工による付加価値を理解。さらに布地構造による基本特性を把握し、 アパレル繊維知識の体系的理解を深めていく。			
【授業計画】 90分/コマ			
1	オリエンテーション ■アパレル製品の生産流通経路(1)		
2	■アパレル製品の生産流通経路(2) メーカー、産地など		
3	■布地の種類		
4	織物		
5	編物		
6	布地まとめ		
7	■繊維の種類と特性 天然繊維(植物繊維)		
8	天然繊維(動物繊維)		
9	化学繊維(再生繊維・半合成繊維)		
10	化学繊維(合成繊維)		
11	■素材の機能性		
12	■生地加工 染色・プリント・仕上げ		
13	■糸の種類と太さ		
14	総復習(テスト傾向と対策)		
15	総合テスト		
【成績評価方法】 平常点(授業態度)10%，理解力50%（小テスト10%,総合テスト40%），提出物40% 以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。			
【教科書・参考書】 ・一見 輝彦『わかりやすいアパレル素材の知識』ファッション教育社 2012年 ・『生地の事典』株式会社みずしま加工 2013年			
【教材・教具】 筆記用具			

科目名	コンピュータ演習Ⅲ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターマスターズコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	120	作成者	林 和子

【科目の到達目標】

Illustrator&Photoshopのデザインソフトの活用技術を修得し、ハンガーイラストやデザイン画、イメージマップなどを駆使し実習で制作した作品のポートフォリオが作成できる。就職先で即実践できるよう、活用するツールをマスターする。

【科目の概要】

情報化社会において情報をいかに円滑に利用するかがビジネス成功の大きな要因の一つとなっている。情報収集・分析から役立つものを見つけ価値を明確にし、その狙いや技術的な詳細などに触れながら、デザイン制作では気づかなかった感情・ノウハウを解き明かす。

【授業計画】

前期 90分/コマ		後期	
1,2	PC基本操作① イラストレーターの基本操作	31,32	エクセル練習1、2、カレンダー制作
3,4	企業デザインからマップ作成① 商品構成マップⅠ	33,34	オリジナルパターン帳
5,6	企業デザインからマップ作成② 商品構成マップⅡ	35,36	エクセル関数・コスト計算
7,8	PC基本操作② イラストレーター的应用Ⅰ 便利ツールとキャラクター	37,38	下げ札コンテスト構成
9,10	プレタ準備 コンセプト入力	39,40	下げ札コンテスト製作
11,12	プレタ準備 下げ札入力	41,42	下げ札コンテスト提出
13,14	プレタ準備 下げ札入力	43,44	モッズコートポートフォリオ①
15,16	プレタポートフォリオ	45,46	モッズコートポートフォリオ②
17,18	プレタポートフォリオ	47,48	モッズコートポートフォリオ③
19,20	動画制作1	49,50	モッズコートポートフォリオ提出
21,22	動画制作2	51,52	HEP商品撮影準備
23,24	動画制作完成	53,54	HEP商品撮影
25,26	パワーポイント1	55,56	HEP商品パターン帳作成
27,28	パワーポイント2	57,58	HEP商品下げ札作成
29,30	前期末テスト	59,60	後期末テスト

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具

科目名	ファッションビジネス論Ⅲ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターマスタースコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 100 %
時間数	60	作成者	秦 野 知 邦
【科目の到達目標】			
・ファッションを通じて、社会に貢献できる社会人としての知識や考え方の基礎を身につける。 ・社会人としてのコミュニケーションの能力を高め、即戦力としての知識や行動力を身につける。 ・一人ひとりの目標を明確にし、強い意志でその目標に向かって行動する姿勢を身につける。			
【科目の概要】			
ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解し、なぜそうなのかを考える グループミーティングやプレゼンなどを取り入れ、自分の言葉や行動で表現する。 最新の業界の情報を新聞やリサーチなどで自分で行動して調べ、ファッションビジネスを理解する。			
【授業計画】			
90分/コマ		前期	後期
1	世界のコレクションとプロモーションについて	16	ファッションビジネスの魅力について
2	即戦力⇒企業が求める人材とは	17	SPAとOEMと総合商社と繊維商社について
3	プロフェッショナルについて	18	メーカーにおけるマーチャンダイジング(Ⅲ)
4	セレクト系・メーカー系・グローバル系SPA	19	ショップにおけるマーチャンダイジング(Ⅲ)
5	タイプ別SPAのショップをリサーチする	20	アパレル市場とマーケティング(Ⅲ)
6	タイプ別SPAを比較して分析する	21	アパレル戦略のプロセス(Ⅲ)
7	就活用としてのリサーチ資料を作成	22	現状のマーケット市場のリサーチ
8	資料内容をグループミーティングでプレゼン	23	就活用としての資料を作成
9	ファッションビジネスのトレンドを追う	24	リサーチ内容をグループミーティング・プレゼン
10	ファッションビジネスのトレンドを検証する	25	百貨店・ファッションビル・路面店への販路は
11	ファッションブランド戦略について	26	トップ販売員について
12	ブランディング・ブランドエクイティについて	27	取引と取引条件について(Ⅲ)
13	即戦力としての計数知識	28	マーチャンダイジングの成果と計数
14	仕事への自覚と準備	29	ファッションビジネスの展望と課題(Ⅲ)
15	期末テスト	30	期末テスト
【成績評価方法】			
・ 授業における評価 40% ・ プレゼンテーション 30% ・ 期末試験 30%			
【教科書・参考書】			
日経MJ ・ 織研新聞 ・ 読売新聞 ・ WWD ・ プレジデント			
【教材・教具】			
ノート ・ 筆記用具			

科目名	ニットCAD演習	整理番号				
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期			
コース	ファッションクリエイターマスタースコース		昼間			
学年	3年	授業形態	講義	50 %	実習	50 %
時間数	30	作成者	重本昌利			
【科目の到達目標】						
ニットの基礎知識を有して、その知識を用いてオリジナルのニット製品を企画する事が出来る ニットデザイナーの養成を目標とする。						
【科目の概要】						
現在市場で販売されるアパレル商品の中で、ニット製品の占める比率は大変多い。 また、カットソーとニットのドッキングなど、生地とニット両方の知識を有したデザイナーが必要とされている。 織生地と、ニット生地の違いを比較しながらニットの基礎知識の理解を深めていく。						
【授業計画】						
90分/コマ		前期				
1・2	ニットの基礎 概要 ニットCAD 基礎知識					
3・4	組織編み 1					
5・6	組織編み 2					
7・8	組織編み 3					
9・10	ジャカードの考察					
11・12	インターシャの考察					
13・14	まとめ、総復習					
15	テスト					
【成績評価方法】						
課題評価 50% 期末試験 40%、平常点 10%						
【教科書・参考書】						
【教材・教具】						
A4用紙 縦型A4フラットファイル SDS-ONE(ニットCAD) SES122-S 8G (コンピューター制御横編み機)						